

フジサンケイグループ4社による

# エリアプロモーション

CASE STUDIES



ポニーキャニオン、扶桑社、産経新聞、BSフジ。  
音楽・アニメ・出版・新聞・TV等、コンテンツ制作や  
メディア企業の優位性を生かして、地域活性化を行っています。  
それらの根底にあるのは、人と人とのコミュニケーション。  
人や場をつないで生まれる、イベントやコンテンツ。  
その反響をさらに拡散する力。  
そんなノウハウをもって、ユニークな施策を展開中です。

#### フジサンケイグループとは？

フジサンケイグループ(FUJISANKEI COMMUNICATIONS GROUP)は、79社、4法人、3美術館、約13,000名の従業員(2024年時点)からなる日本最大級のメディア・コングロマリットです。テレビ、新聞、ラジオ、出版、映画、音楽、コンテンツの制作・販売・配信、総合通信販売、及び都市開発・観光などの幅広い分野で、長年にわたる実績を高く評価され、彫刻の森美術館・美ヶ原高原美術館・上野の森美術館での文化事業や、内外のマスコミから「文化のノーベル賞」と称賛されている「高松宮殿下記念世界文化賞」にも取り組んでいます。フジサンケイグループは、日本の情報産業のリーダーとして、社会的な影響力の大きさを認識しつつ、日本国内のみならず世界中の視聴者、聴取者、購読者、購買者の心を豊かにする活動を常に心がけています。

## CONTENTS

2-3	メンバー紹介
4-5	扶桑社
6-7	－事業概要 －事例
8-9	産経新聞
10-11	－事業概要 －事例
12-13	BSフジ
14-15	－事業概要 －事例
16-17	ポニーキャニオン
18-21	－事業概要
22-23	－シティブロモーション事例
24	－観光プロモーション事例
25	－物産プロモーション事例
26-27	－プロデュース事例
28-29	－IPコラボ事例 －その他事例
30	各社連携事業例 佐賀県「SAGA BAR」を活用した佐賀酒プロモーション業務 (扶桑社×ポニーキャニオン)
31	東京都青梅市 おうめをみつける・おもいだす戦略支援業務 (ポニーキャニオン×扶桑社×BSフジ)
32	スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ (産経新聞×BSフジ)
33	会社概要

Cover Illustrator: Taku Bannai

# STAFF PROFILE

地域事業に取り組む  
4社のスタッフを似顔絵で紹介。

♥ 趣味・好きなこと ★ 特技

扶桑社

立石史博 (福岡県)  
♥ トレイルランニング



田中ゆう子 (新潟県)  
♥ アンテナショップめぐり  
アンテナショップで地方の美味しいもの探し、スキー、スキューバダイビング

産経新聞社



野崎 勇 (大阪府)  
♥ バレーボール  
★ チャーハン食べ比べ



千田耕平 (千葉県)  
♥ スポーツ観戦、旅、子育て



菊地莉里花 (神奈川県)  
★ リンクホッケー(日本代表)



加藤聖子 (広島県)  
★ Y字バランス、絶対音感

富田真琴 (群馬県)  
♥ 旅行、合唱



BUSJ

高祖 隆 (東京都)  
♥ スーパーマーケット巡り、音楽・ラジオ鑑賞



片山怜子 (大阪府)  
♥ ごはん

ホニキヤニオン



村多正俊 (東京都)  
♥ 安土桃山&ウィンテージ



平島 綾 (埼玉県)  
★ 中国語(日常会話程度)



小笠原裕樹 (東京都)  
♥ アメフト観戦  
★ 映像制作プロデュース



谷口晶郎 (茨城県)  
♥ IPA&THE BEATLES



歳森康広 (岡山県)  
♥ キャンプ&濃い酒場



黒澤 格 (神奈川県)  
♥ 料理が息抜き



有江 潔 (東京都)  
♥ 釣り&カレー



新庄智文 (宮崎県)  
♥ バイク(ZRX400)

# 扶桑社

総合出版社ならではの  
企画・編集力で地域のニーズに応えます!

できること  
WHAT WE CAN DO

## 読者インフルエンサーと行うPR企画

生活情報誌『ESSE』のふるさと納税の全国コンテストがその代表。編集部が企画に積極的に参加いただいている「読者インフルエンサー」たちとのプロジェクトがいちばんの強みです！雑誌やWEBでのPRのみならず、オリジナル商品の開発やプロデュース、マーケティング調査なども可能。読者を巻き込んだ参加型フェスやイベント、試食会の開催など、ニーズに合った企画を柔軟にご提案します。



全国の自治体のふるさと納税の取り組み No.1 を応援する「ESSEふるさとグランプリ」/岡山県の県産品コンサルティング事業より

## ABOUT US 出版社の強みを生かして、地域の魅力を的確に伝えます!

扶桑社は複数の雑誌、WEBメディア、書籍、ムックを発行・運営する総合出版社です。月間3億PVを超えるWEBメディアと熱心な購読者をもつ紙媒体を日々展開しています。私たちのいちばんの強みは読者と一緒にマーケティングやプロモーションを行うこと。読者の暮らしぶりやニーズを正確に把握しているため、幅広い層に的確に情報を伝えること

が可能です。この情報発信能力と編集部が培ってきた企画力・編集力をいかし、地域の魅力を伝えるお手伝いを2018年からスタート。情報発信と多彩なイベントを組み合わせることで、より魅力的な施策をご提案しています。施策には自社メディアを活用するので、広告代理店にはできない柔軟なプランとお手頃な価格も強みのひとつです。



あらゆる世代の生活を彩る雑誌や書籍を出版!  
1984年に設立。特色ある週刊誌・月刊誌・季刊誌などの雑誌をはじめ、書籍・ムックも幅広く出版しています。各種デジタルメディアも推進中!

## 自社メディアでの企画展開

自社メディアを活用したPRも効果的に展開中。地域創生に特化したWEBメディア「カラふる」をはじめ、多彩な雑誌とそのオンラインメディアやSNSを使って、体験イベントの企画運営・記事発信など、長年培ってきた企画力をいかした施策を提案します。動画と組み合わせた多角的な展開も可能です。



地域の魅力を発信する  
ニュースメディア「カラふる」



## コンサルティング&出版物制作

総合出版社としての豊富な知見と読者マーケティングのスキルを駆使して、商品開発やWEBサイトの制作・運営、地域の魅力を伝える出版物の発行など、なんでもお手伝いします!





▲ 2019年にスタートしたESSEふるさとグランプリ。2024年は23自治体が参加

CASE  
01読者インフルエンサーを活用した  
「ふるさと納税PR」

2019年～2024年度 全国自治体

## 「ESSEふるさとグランプリ」を毎年開催！

ふるさと納税を応援するため、「ESSE」の読者インフルエンサーによる審査会「ESSEふるさとグランプリ」を毎年開催！自治体のプレゼンテーションと試食をもとに、生産者のこだわりや返礼品のおいしさ、自治体の魅力、寄付金の使い道などを審査し、受賞結果を「ESSE」の特集ページで紹介。「カラふる」などのWEBメディアでも特集しました。イベントの様子や自治体の取り組みは、インフルエンサーによってSNSで拡散されるほか、全国放送のニュース番組等でも取り上げられています。

CASE  
02首都圏の女性を対象にした  
佐賀酒プロモーション

2023年度 佐賀県

## 佐賀の日本酒と食材を飲食店でアピール

佐賀の日本酒の魅力、首都圏の女性に認知してもらうため多角的なプロモーションを実施。佐賀の日本酒と食材と一緒に楽しめる、フェアやイベントを計3回、都内の異なる飲食店で開催しました。メニュー開発には、人気料理家や料理YouTuberを起用。1回目は都心で働くミドル層、2回目は20代を中心とした若年層、3回目はゆとりあるアッパー層と対象を変えることで、幅広い層に佐賀のお酒の魅力を伝達。これにWEBメディアやSNSでの発信を組み合わせ、情報リーチ数を大幅にアップ、大きな反響を呼びました。※関連事業はP.30ご参照



イベント・メニュー開発



▲フェアを開催した飲食店では予想以上の売り上げを達成することができました



▲認知向上とともに、インフルエンサーの好感度アップにも貢献

CASE  
04人気キャラクターを使った  
ふるさと納税応援企画

2024年度 全国自治体

## 原作者が試食&amp;チェック

人気グルメマンガ「孤独のグルメ」のキャラクターを使った、ふるさと納税応援企画を実施。マンガの原作者である久住昌之さんに返礼品を実食してもらい、主人公「井之頭五郎」がそのおいしさを独特な言い回しのセリフで伝える、というユニークなプロモーションです。参加自治体には、ふるさと納税ポータルサイトなどで使用可能なオリジナルロゴも提供。同時にWEBメディアで久住さんの美食の様子を記事化し配信することで、幅広い層の認知を得ました。

CASE  
03常陸大宮市の魅力を再発見する  
ランチセミナー

2023年度 茨城県常陸大宮市

## インフルエンサーにまちの魅力を伝達

常陸大宮市の魅力を再発見し、読者インフルエンサーを紹介するランチセミナーを都内で開催。茨城県内で活動するアナウンサーとともに市内の魅力的なスポットを取材、おいしい地元産のグルメを食べながら写真や動画とともに説明しました。参加したインフルエンサーがその様子を自身のSNSで拡散するとともに、WEBメディアでも発信し、常陸大宮市の認知度アップに貢献。終了後のアンケートでは、参加したインフルエンサー全員が「常陸大宮市に行きたい」と回答するなど、態度変容にもつながることができました。



IP企画・記事掲載



▲ファンにはたまらない、井之頭五郎ならではのセリフが話題に

# 産経新聞

自社メディアやオンラインコミュニティ、イベント実施などを自在に組み合わせ、地域の魅力を発信します！

## できること

WHAT WE CAN DO

### ✓ 新聞紙面やメトロポリターナなどを活用した地方の魅力発信

新聞や雑誌を長年手がけてきた実績豊富なチームによる、ハイクオリティな紙面制作。正確かつ伝わりやすい文章でお届けします。



創刊90周年を迎えた全国紙「産経新聞」  
首都圏で働く女性向けのメトロマガジン「metropolitana」

### ✓ WEB・動画制作

「産経ニュース」の記事体広告「スポンサードコンテンツ」は記者が書く丁寧でキャッチーな文章が魅力。また自社 YouTube での動画配信や、社内プロ映像チームによる動画コンテンツの撮影・編集が可能です。

フォロワー76.5万超のXアカウント「産経ニュース」／登録者57.6万人超を誇るYouTubeアカウント「SankeiNews」／月間2100万人以上のユーザーが訪れる「産経ニュース」



## ABOUT US メディアやコミュニティを活用して、地域の課題を解決します！

産経新聞社は「産経新聞」や「産経ニュース」などを発行・配信する報道機関です。近年は自社のリソースを活用した地方活性化事業にも注力しています。22年より、オンラインコミュニティ「きっかけ」内に地方や移住に興味がある人が集まり、語り合う「地方が気になるコミュニティ」をオープン。ユーザーのコメントを分析することで、潜在的なニーズや移住に対するインサイトを表面化。そのデータを活用したPR施策を行

なったり、移住に興味があるライト層に向けて自治体様の移住施策を紹介したりするなど、さまざまな案件でご利用をいただいております。新聞をはじめ、WEBや雑誌、イベントなどで培ってきた情報発信力や、コンテンツ制作力、イベント運営力などを武器に、産経新聞社ならではの企画で地方創生をお手伝いします！

### ✓ オンラインコミュニティを使った地域創生、移住促進事業

地方や移住に少しでも興味のある人が集まり、地方の魅力に触れたり、地方や移住について情報交換をしたりする中で、地方への興味を醸成している「地方が気になるコミュニティ」。ユーザーの声を収集、データ分析。そのデータを活用し、記事化や広告活用、イベント開催、体験ツアーを実施するなど、地方創生、移住促進に向けた包括的なPR展開が可能です。



「地方が気になるコミュニティ」

## 首都圏・近畿圏に集中する都市型メディア

産経新聞全国版朝刊	発行911,874部
産経ニュース	月間平均58,558,000PV
フリーペーパー「metropolitana」	発行200,000部
「産経ニュース」Xアカウント	765,000フォロワー以上

## 多数の協力会社と運営

「地方が気になるコミュニティ」は、一般社団法人 移住・交流推進機構との協力を得て移住促進事業を実施中。同コミュニティは大手ファンコミュニティ運営会社・クオン株式会社とも業務提携して運用しています。また、大手旅行代理店などともソリューション提携が進んでいます。



### ✓ イベント運営

大規模食フェスからオンラインイベントまで！自社メディアを活用し、多くの消費者とのタッチポイントを生み出します。



「発見！ふくしまお魚まつり」の様



▲セミナーには先輩移住者がゲストとして登壇。生の声が聞けると好評で、100名以上の応募を獲得した

CASE  
**01** 自治体の移住施策を包括的に支援

2023年度 栃木県

2022年・2023年の移住希望地ランキング(ふるさと帰郷支援センター調べ)で、2年連続第3位に選ばれた栃木県への移住や暮らしにまつわる魅力を伝える移住施策を、年間を通して実施しました。オンライン移住セミナーは全4回実施し、すべて100名以上の応募を獲得。栃木県が今まで実施した移住セミナーにおける実績を大幅に更新し、過去最高の応募・参加者数を記録しました。またインフルエンサーを起用した、地域の魅力を現地から発信するインスタライブを実施し、若年層女性・子育て世帯女性などターゲットに合わせた訴求を行いました。



▲インスタライブ開催の様子



▲町で行われた発表会にてスイーツづくりをする高校生とパティシエ

CASE  
**03** スイーツの力で復興支援

2023年度 福島県大熊町、富岡町、楡葉町

産経新聞社は、福島県大熊町・富岡町・楡葉町の3町の農産物の生産拡大や風評被害の払拭を目的に、同町の特産品を使ったスイーツ作りのコンテスト「スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ」と、考案したスイーツを実際に販売する「ふくしまスイーツフェスティバル」を開催しました。これは産経新聞社の主催事業「スイーツ甲子園」の姉妹イベントで、決勝大会を勝ち抜いた高校生3組と、審査員を務めた著名パティシエ3名がコラボレートし、それぞれの町の特産品を使ったスイーツを考案。考案したスイーツは、東京都渋谷区の代々木公園にて開催した「ふくしまスイーツフェスティバル」にて限定販売し、魅力をPRしました。「産経ニュース」でもメニューの開発秘話を紹介するなど、多方面から企画を盛り上げました。



※詳細はP.32ご参照

CASE  
**02** 「地方が気になるコミュニティ」とコラボした移住体験会を実施

2024年度 大分県豊後高田市

充実した子育てで支援で移住地として人気の大分県豊後高田市ですが、移住者の多くが九州圏内の方だったこともあり、より移住者を増やしていくために、関東圏、関西圏へのPRを課題としていました。産経新聞社で案件を受注し、登録者の多くが関東圏・関西圏の「地方が気になるコミュニティ」を施策に活用。移住体験をしてみたいファミリーを募集し、2組計8名の方にモニター移住体験会に参加していただきました。レポートをコミュニティに載せたところ、大きな反響を呼び、分析結果は市が独自で行っている移住体験会の内容のブラッシュアップにも利用。実際に関東圏や関西圏からの移住体験希望が増えるなど、実績を残しました。



▲先輩移住者が開いた店舗で「豊後高田バーガー」を味わいながら、先輩移住者と交流を深めた

CASE  
**04** 復興状況や安全性をダイレクトにアピール！自治体の魅力体験ツアー実施

2023年度 福島県富岡町

福島県富岡町の“今”を知ってもらい、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故からの復興を応援することを目的に、親子や大人それぞれを対象とした「富岡町の海を知る体験ツアー」(2泊3日)を実施しました。釣り船でヒラメ釣りを体験し、釣ったヒラメを味わってもらうほか、食品検査所で放射性物質の検査の様子を見学し、食品の安全性についても学んでもらいました。福島の豊かな海を体験し、富岡町の復興の現状や安心・安全について知ってもらう機会になりました。



▲ツアーでは参加者が実際にヒラメ釣りを体験

# BS フジ

放送局の情報発信力を総動員!  
番組とリンクし、地域の魅力を国内外に  
お届けします。

## できること

WHAT WE CAN DO

主な番組紹介 課題解決、周知・普及促進を目的としたプロモーションなど、映像コンテンツ制作はお任せください!

### 1. 情報ドキュメンタリー



毎月第4金曜 24:00~24:30

#### Trailblazers ~次なる日本の革新者たち~

次なる Trailblazers=革新者たちを紹介。そのジャンルは音楽やアート、さらには伝統工芸に新たな息吹を吹き込む人、地方の観光振興に奮闘する人などさまざま。彼らの戦略と想いに迫ります。

### 2. 紀行



毎週金曜 22:00~22:55

#### ビルぶら!レトロ探訪

昭和レトロなビルを俳優の梶原善がゆるりと探訪。食堂、純喫茶、ゲームセンター、スナックなどのビルにひしめき合う店舗を訪ね、レトロ空間に息づく情緒を味わいます。

## ABOUT US

放送事業を起点に  
「総合プロデュース企業」  
へと進化します!

2000年よりデジタルハイビジョン放送をスタート。全国一歩のBS放送と配信サービスで、日本中にコンテンツを届ける放送局です。番組制作をメインに、アート事業、コンサートやイベントの企画運営、コミュニティの運営支援、官公庁や諸地域との取り組みも行っており、これまでに映像コン

テンツの制作や、海外インフルエンサーを活用したインバウンド向けPR、特産品の海外販路拡大事業などを手がけてきました。今後も放送媒体として培ってきた人脈・情報・ノウハウをかけ合わせ、新たな価値を提供する総合プロデュース集団として進化していきます。

### 3. エンタメ



毎月第1~3金曜 24:00~24:30

#### 夜な夜なプロジェクト

あなたがまだ知らないプロジェクトを「楽しく・わかりやすく」お届けする情報バラエティ。お笑い芸人・マヂカルラブリーがMCを務め、音楽、アート、イベント、観光など数々の魅力あるプロジェクトを全国に向けて紹介します!



毎週土曜 24:00~24:30

#### 小山薫堂 東京会議

企画は番組収録中に検討! 食・住・衣・車・環境といった生活に直結する事柄をテーマに、くまモンの生みの親でもあるマルチな放送作家・小山薫堂がゲストとともにトーク。都市生活を豊かにする方法を会議する新感覚バラエティ。



PR 協力



CASE

01

## 社会課題の理解を促進するコンテンツ制作

2021~2024年度

経済産業省・中小企業庁

日本経済の課題である「業務の標準化」や「事業承継」の理解促進のため、Web用の映像コンテンツを作成。自社が持つ番組づくりのノウハウを発揮し、キャラクターによるナレーションや専門家による解説、事業者たちの座談会などで構成して情報を届けました。



CASE

02

## インフルエンサーを活用した海外向けプロモーション

2016年度

経済産業省

## 九州地方の魅力発信による消費拡大

九州地方の災害による風評被害を払しょくし観光事業を盛り上げるため、台湾・香港在住の外国人に向けて九州の魅力伝えるPR映像を制作しました。映像は各国の主要駅やモール内に放映。インフルエンサーを起用してのPRや復興イベントも開催しました。

## アート×日本文化を発信するオンラインイベント

2020年度

文化庁

水墨画や和紙などの日本文化をテーマにメディアアーティスト、クリエイターが作品を創る文化庁発プロジェクト「CULTURE GATE to JAPAN」を、海外へ発信するオンラインイベントを企画・開催しました。イベントでは、中国、タイ、韓国、台湾で活躍する各国のインフルエンサーらと中継をつなぎながら、作品やそのテーマとなった文化の魅力を伝えました。

CASE

03

## 海外に向けた徳島特産品の販路開拓

2022年度

全国商工会連合会

販路拡大



世界の食文化をリードするフランスに向けて、徳島県が誇る特産品の販路開拓事業を実施。鳴門市や専門家との連携のもと、過去に農林水産省の海外販路開拓事業を受託した経験のあるBSフジが総指揮を務めました。徳島の日本酒、クラフトシロップ、織布、陶器などを扱う全12事業者の商品をアピールするため、主要都市パリやモナコの飲食店にてテストマーケティングを兼ねた提案会を開催。鳴門海峡を想起させる“青”をテーマに食材と器を組み合わせた提案を行い、当日のブースは日本文化に関心を寄せる多くの人で賑わいました。他にも商品の輸出サポートから、紹介映像やプレゼン資料といった商談用ツールの制作、商談コーディネートをトータルで担い、新たな販路拡大へと貢献。本事業の様子はBSフジ「Trailblazers」にて特集番組を制作・放送し、全国の視聴者へと届けられました。



▲パリやモナコで行った、お酒やシロップ、器といった徳島の食文化をトータルでお伝えする提案会から、近年、BSフジでは他にも、米、仏、香港での雑誌のプロジェクトの販路開拓(日本貿易振興機構)、長野県安曇野市のワザビを中心とした農産物の販路開拓(全国商工会連合会)といった施策を手がけています。

# ポニーキャニオン

長年培ったエンタメの力で  
あらゆる地域課題を解決します！

できること  
WHAT WE CAN DO

## 歴史の活用

戦国史ブームの今、数々の著作、大河ドラマや映画監修でシーンを牽引する“戦う歴史学者”平山優氏とエージェント契約を締結。歴史資源を活用したコンテンツの企画・制作、イベント実施はお任せあれ！



平山優氏とのエージェント契約

## イベント

膨大な数のコンサートやライブ制作を手がけてきたノウハウを生かし、見本市や市民参加の催し、クリエイターを起用したワークショップなどさまざまなイベントをプロデュースしています。

JOIN 移住・交流&地域おこしフェア  
(移住・交流推進機構)



## 映像制作

今や地域活性化に映像は必須。総合エンタメ企業として、アニメ、実写、CG、VR などあらゆる種類の映像の制作実績があります。企画から配信までワンストップで制作可能です！



呂布カルマを起用したショートアニメ「カモン大垣」(岐阜県大垣市)

## オンラインプロジェクト

膨大な数のコンサートやライブ制作を手がけてきたノウハウを生かし、見本市や市民参加の催し、クリエイターを起用したワークショップなどさまざまなイベントをプロデュースしています。

埼玉県「オンライン狭山茶まつり」プロデュース



ABOUT US ポニーキャニオン・エリアアライアンス部と共に、地域と人を元気に！

「アライアンス」とは同盟・提携という意味。2017年に生まれた「エリアアライアンス部」はポニーキャニオンの地域活性化専門部署として、自治体や地域団体とタッグを組み、地域課題の解決に取り組むチーム。エンタメ業界の企業では初の取り組みです。まちの魅力を内外に広めること、歴史資源を若い世代へ継承すること、クリエイターやアーティストと協働してコンテンツをつくること。1966年に創業した弊社が培ってきた経験と、アライアンスを重ね紡いできた「人」のネットワークを活かして、「地域から日本を元気にする」べくフレッシュなソリューションを提供して参ります。



企画力・制作力・発信力に自信あり！  
弊社が持つ企画・制作力・発信力(サウンドメディアやオフィシャルアカウントによる展開～ニュース配信、公式サイト掲出、公式SNS拡散やメディアへのアプローチ)を最大限活用し、地域活性化を推進しております。

さまざまな組織と連携  
銀行や旅行、出版、デジタルマーケティング、アパレル、コンサルティングなど、さまざまな事業者と提携。活発な人材交流を実施するなど、地域活性化事業の精度向上につとめています。

- 株式会社日本旅行 株式会社ナイドレイ 株式会社CAMPIRE 株式会社ABCアーク
- OKB大垣共立銀行 株式会社アッシュ 株式会社ビーアット 一般社団法人 移住・交流推進機構
- 株式会社朝文社 株式会社産経日本新聞メディアラボ 株式会社ヒュームス 一般社団法人 地域活性化センター
- 株式会社M-WAVE 株式会社テレビ西日本 株式会社西日本新聞社

## ヘリテージマネジメント

ヘリテージ＝「遺跡・史跡」の魅力が次世代への継承を視野にいた時代性のあるコンテンツやプロモーションで訴求するなど、サステナブルな運用・活用を推進しています。



「旧白洲邸 武相荘」運営参画 (東京都町田市)

## メディアづくり

記憶と記録を残すための紙媒体ニーズにもきちんとお応えします。オリジナルの冊子やメディアを制作・運用し、地域の魅力を凝縮したユニークなコンテンツをお届けします。



「まちだで好きを続ける」(東京都町田市)

イベント/配信/WEB媒体/紙媒体/PV



▲わかやま移住プロモーション動画「きっとこれからも」(2022)

CASE  
01

## わかやま移住プロモーション事業

2022年~2023年度 和歌山県 (地域政策局 地域振興課)

## 移住促進のための総合プロモーションと情報発信ポータルサイトの構築

新しいライフスタイルや地方に対する関心の高まりを受け、農林水産業の担い手としての移住や転職なき移住など新たな移住者層をターゲットに加え、和歌山県の移住地としての魅力を発信。移住ポータルサイトの構築、プロモーション動画・移住ガイドブックの制作、移住セミナーの開催、大規模移住フェアの企画運営等を実施。



▲わかやまLIFEリーフレット

▲移住ポータルサイト「わかやまLIFE」

CASE  
02

2023年度 町田市 (政策経営部 広報課)

## 町田市シティプロモーションサイト構築・運用等業務

## ヒト・モノとコトを軸にWEBで魅力を発信

WEB媒体/イベント/インフルエンサー



▲町田市シティプロモーションサイト「まちだで好きを繋げる」

市内外へ向けて町田市の魅力を発信・発見できる場所をつくり、興味を持った人が行動変容を起こす場所となるようなサイトを制作。人とのつながりを意識したコンテンツをインタビューを中心に年間24本を新規に制作。プロモーションとしてInstagramキャンペーンも実施。

CASE  
03

2022年~2023年度 青梅市 (シティプロモーション課)

## おうめをみつける・おもいだす戦略支援業務

## 移住・定住促進プロモーションのインフラづくり

プロデュース/WEB媒体  
PV/紙媒体/イベント/SNS

▲多摩川上流でのリバーグリーン活動の様子

初年度に、移住・定住ポータルサイトやガイドブックを制作。移住者インタビューによる青梅市の魅力を伝えるPV制作や、SNSアカウントの開設・運営を実施。また、SNSを活用したハッシュタグキャンペーン「#おうめ推し」を通して観光だけではなく、「暮らす場所としての青梅」の情報を発信。2年目には空き家活用アイデアコンテストや街歩きイベントを開催。※詳細はP.31ご参照

PV/WEB媒体



▲高槻市PR動画「関西で働くことになったあなたへ」

CASE  
04

## 高槻市定住促進プロモーション業務

2023年度 高槻市 (街にぎわい部観光シティセールス課)

## 東京圏での知名度向上コンテンツを制作

良好な住環境にある高槻市の「住みよいまち」としての魅力を市内外の20~40歳代へ向けて情報発信するためのコンテンツ(PR動画、広告ビジュアル、ランディングページの新規ページ)を制作。令和5年度は特に東京圏を重点エリアに設定してプロモーションと市公式Instagramアカウントを活用したキャンペーンを実施。



▲交通広告用サイネージ (JR京浜東北線/根岸線 車内サイネージ)

▲Instagramキャンペーン

CASE  
05

## 高槻市観光プロモーション業務

2022年度 高槻市 (街にぎわい部観光シティセールス課)

## 高槻にBOTTO(没頭)するテーマを掘り下げたプロモーション

観光プロモーション「BOTTOたかつき」ではニコニコ生放送で高槻市長と島本町長の中将棋対局を配信。他、グルメ企画「BOTTOカレー」も合わせて実施。初の開催となった「高槻将棋まつり」の企画運営実施、PR動画「将棋のまち高槻」を制作、関西将棋会館建設支援プロモーションなど、「将棋」と「グルメ」をテーマに多角的なコンテンツ作成とプロモーションを展開。



▲将棋のまち高槻PR動画「高槻棋風」

▲観光プロモーション「BOTTOカレー」キャンペーン

イベント/PV/配信/WEB媒体/紙媒体/プロデュース



▲高槻将棋まつり

CASE 06 2018年～2023年度  
桑名市 (市長公室ブランド推進課/ブランド推進係)桑名市首都圏  
パブリックリレーションズ業務

プロデュース/WEB 媒体



▲桑名市を代表する名勝・六華苑

桑名市のブランディングと  
首都圏からの情報発信を6年間実施

桑名市が持つ観光、物産、産業、歴史、文化、自然などの様々な魅力を最大限に引き出し、本市のブランディングを行った事業。桑名市の魅力・価値を東京から全国へ効果的に発信することで、桑名市の認知度アップ及び観光客の誘致を促進し、都市イメージの向上、ブランド力の推進を図った。また、首都圏のメディアや各種業者等に対し、記事誌面やテレビ番組等へのメディア露出となるようなPR活動を行った。

CASE 07 2023年度  
成田市 (企画政策部広報課)

## 市政PR動画制作等業務

PV



▲成田市PR動画「幸せってなんだろう...?」

自治体の魅力を子どもの  
ナレーションでPR

将来的な人口流入や市民の定住に繋げることを目的とし、成田市のPR動画を制作し発信することで、市の魅力・価値のPRを行った。PR動画が特にアピールするのは、「英語教育」や「医療環境」、「空港関連企業をはじめとした雇用の充実」。メインの動画のほかに魅力を抜粋した3本の短編も同時公開。「市の施策を伝える」という、説明が多くなりがちなテーマを、幸せが何かを考える子どもを主人公にすることでさりげなくアピールする動画に仕上げた。

CASE 08 2023年度  
真岡市 (総合政策部秘書広報課)真岡市シティプロモーション  
映像制作業務

PV



▲真岡市PR動画「もおかのイチゴ物語」

## PR動画を用いて魅力を効果的に発信

特産品であるいちごを主役に「いちご王国の首都もおか」をコピーとしコラージュ技法を用いたPR動画を制作。大きな話題となった。真岡市の魅力を効果的に発信し、知名度向上及びイメージアップを図ることで、「住み続けたい」「訪れてみたい」という定住人口・関係人口の増加及び市民のシビックプライドの機運の醸成を図った。

CASE 09 2022年度  
江南市 (企画部地方創生推進課地域の魅力発信グループ)

## 江南市シティプロモーション動画制作業務

## シビックプライド醸成と移住定住促進の2本のMVを制作

PV/WEB 媒体



▲江南市PR動画「暮らし編」(2022)

「暮らしが花ひらく生活都市」愛知県江南市の魅力をミュージックビデオ風に表現。「暮らし編」は江南市に住む家族の生活を通して、名古屋からほど近い利便性の高さや子育てしやすさを描いた。「PR編」は、江南市に観光に訪れた1人の女性の目線を通して、観光施設やカフェなどのお勧めスポットを紹介。音楽は野崎良太(Jazztronik)の書き下ろし。

CASE 11 2015年～2020年度  
港区 (産業・地域振興支援部 地域振興課)

## 港区文化芸術フェスティバル業務

## ゴスペルを通じ、シビックプライドの機運を醸成

イベント/配信/プロデュース



▲港区文化芸術フェスティバル(2018)

プロシンガー・有坂美香が基本練習からステージでのパフォーマンスまで寄り添い、参加者と一緒に形にしていける年齢・言語を超える国際的と独創性あふれる事業。2018年度には人気プロデューサー&作曲家である松原憲によるオリジナル楽曲「きみいろのシアワセ」を制作し、ステージでパフォーマンス。2020年度はオンライン練習を経て、無観客公演を実施。その模様をライブ配信。港区民参加事業では最も高い人気を誇った。

CASE 10 2018年～2021年度  
印西市 (企画財政部シティプロモーション課)

## 印西市シティプロモーション支援業務

## 話題性のあるコンテンツによるシティプロモーションを実施

PV/WEB 媒体/紙媒体



▲印西市PR動画「印度じゃないよ、印西市」(2018)

自治体初のポロッド(インド)映画風PR動画「印度じゃないよ、印西市」制作をはじめ、2019年～2021年度には「印西『あるある』マンガ」のアニメ化、リレーインタビュー「インザイのジンザイ」や同市出身の推理作家によるミステリー企画など話題性の高いコンテンツ制作によるシティプロモーションを実施した。

CASE 12 2017年度  
草加市 (総合政策部総合政策課)

## 草加市制60周年記念事業企画運営業務

## シビックプライド醸成を目指した周年事業のプロデュース

イベント/プロデュース  
インフルエンサー

▲草加市制60周年記念アニメ「きみの待つ未来へ」

市制60周年をきっかけとしたシビックプライド醸成、市外へのPRを目的とした事業。記念式典は厳かな第一部と、つるの剛士をゲストに迎え、市の歴史を紹介するオリジナルアニメの上映や、市内小中学生による次世代合唱団による歌唱を企画。エンターテインメント性の高い第二部構成とし、これまで式典に参加しなかった層の集客に成功した。

プロデューズ/アニメ/イベント/インフルエンサー  
WEB媒体/紙媒体/記事掲載



▲ 工事テントに描かれた火の鳥は、公示期間中の新たなシンボルに

CASE 13 道後温泉本館保存修理工事を活用した  
観光資源化情報発信事業

2018年～2021年度 松山市 (産業経済部 道後温泉事務所)

道後温泉本館保存修理工事観光資源化事業の前半をプロデューズ

松山市のシンボルである道後温泉本館を“営業しながら”の工事を新たな観光資源とする事業。工事期間予定の約7年の前半のプロデュースを担当し、「再生」をテーマに手塚治虫氏の名作「火の鳥」とコラボ。道後温泉の歴史を「火の鳥道後温泉編」としてオリジナルアニメを制作。火の鳥を描いた工事テントは工事期間中の新たなシンボルとして、多くの観光客を誘客。「スポーツ文化ツーリズムアワード2020」文化ツーリズム賞を受賞。



▲ 夜の観光コンテンツとしてプロジェクションマッピングも ▲ 道後の歴史をオリジナルアニメ「火の鳥」を3話制作

CASE 14 2019年～2023年度 沼津市 (産業振興部観光戦略課)

沼津市首都圏向け広報・営業等業務

沼津市の魅力を複数年にわたり多角的に発信

配信/イベント/事務局  
インフルエンサー/WEB媒体



▲ 歴史学者・平山優氏による沼津戦国史跡バスツアー(2023)

弊社内に「沼津市観光プロモーション東京デスク」を設置。メディアとタイアップしたワーケーションPRや首都圏での物産トップセールスをはじめ同市の魅力を東京から全国に発信し、認知度アップ及び観光客の誘致をサポートした。2022年度においては人気歴史学者の平山優氏によるトークイベントや同イベントのYouTube LIVE配信、更には同市内戦国史跡めぐりバスツアーを歴史メディアとタイアップの上実施するなど、時代性のある観光施策を実施したことも特筆事項。

CASE 15 2021年～2023年度 忍野村 (企画課)

忍野村プロモーション動画制作発信支援業務

地元民も驚く魅力あふれる動画を3ヶ年に渡って制作

PV



▲ 忍野八海祭りの花火とシルエットで浮かび上がる富士山

世界遺産「富士山」の構成資産である「忍野八海」や新たな観光拠点として2022年度に誕生した「二十曲峠展望テラス～SORA no IRO～」などを中心に四季折々の景色、アクティビティ、グルメも盛り込んだ動画を2021年～2023年で計8種20本制作、うち13本をインターネット上に公開。合計74万回再生されている。

CASE 16 2016年～2021年度 大垣市 (企画部秘書広報課広報グループ)

クールおおがきアニメ映像制作業務

実写&アニメで大垣市の魅力を発信

アニメ/PV/イベント/配信  
プロデューズ/インフルエンサー/WEB媒体



▲ アニメ「がきたびっ!～あけちの故郷(ふるさと)編～」(2020)

ユネスコ無形文化遺産に登録された「大垣まつり」の実写PR映像や「過去や未来の大垣市」「同市の文化資源」を題材としたアニメPR映像を制作。アニメでは原作に同市出身作家中村航氏を起用し、人気声優三森すずこを起用。またそれぞれコンテンツを基としたWEBプロモーションも実施し、同市の関係・交流人口の一助を担った。

CASE 18 2023年度 一般社団法人千代田区観光協会

徳川家康に関する資源を  
活用した千代田区観光プロモーション業務

徳川家康のおひざもと東京・千代田区。同区観光協会による、家康を知り尽くすイベントを実施

イベント/WEB媒体/紙媒体



▲ 徳川家康を用いたバナーイラスト

「徳川家康＝江戸城＝千代田区」の認知度向上に向け、区内の観光スポット・飲食店・ホテル等と連携し、家康に関する資源を活用した観光プロモーションを行った。人気歴史学者の稼働等、歴史好きばかりではなく幅広い客層の誘致促進に繋げる謎解きイベントやインフルエンサーの稼働等、地域経済の活性化に寄与した幅広いプロモーションを実施した。

CASE 17 2017年度 白河市 (文化財課)

戊辰戦争白河口の戦い紹介映像制作業務

再生回数160万回超! 地域の歴史紹介映像を制作

PV



▲ 戊辰戦争紹介映像「戊辰戦争白河口の戦い～激戦と慰霊～」

戊辰戦争より150周年の節目を迎えることから、戊辰戦争において白河とその周辺で起きた「白河口の戦い」についての映像を制作。制作した映像は、白河市内をはじめ県外観光案内所・イベント等で広く活用され、地域資源の活用と魅力創出、周遊型観光の推進に繋げる為の取り組みに貢献した。ナレーション・塚正幸、楽曲・野崎良太(Jazztronik)のオリジナル楽曲を使用。

CASE 19 2023年度 一般社団法人小田原市観光協会

戦国北条フェスティバル運営業務

戦国大名、小田原北条氏を基点とする歴史を  
エンタメとして捉えた多角的PR

イベント/配信/WEB媒体/紙媒体



▲ トークフェスオリジナルロゴ

戦国大名北条氏と小田原の歴史と文化を振り返る“究極のトークフェス”「戦国北条フェスティバル」を開催。大河ドラマ「どうする家康」時代考証を担当した平山優をはじめ、多数の人気歴史学者の講演&対談、更には歴史ファンとのレセプションを実施。小田原の歴史観光推進を目的としたオフィシャルブック制作、YouTubeリアル配信等、多角的なプロモーションにより小田原北条氏を主題とした大河ドラマ誘致にむけ首都圏の機運醸成を行った。

CASE 20

2021年～2022年度 宮島醤油株式会社

## 宮島醤油ブランディング

佐賀県唐津市の老舗、宮島醤油。同社の企業理念を映像化

PV / プロデュース / WEB媒体  
記事掲載

▲ブランディング動画「美味しいは、オモイをつなぐ。」(2021)

経済産業省「コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業費補助金(J-LOD補助金)」を活用し、ブランディング動画・楽曲を制作した。同社の社は「去華就実(きよかしゅうじつ)」を映像化する3作品を公開、WEBを中心とした情報発信のサポートも行った。

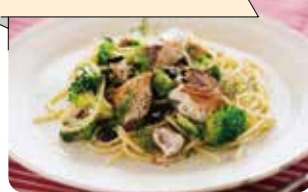
CASE 22

2019年度 長崎県 (文化観光国際物産ブランド推進課内販)

## 「長崎は、美味しい。」食のPR事業にかかる情報発信業務

肉・魚・野菜…豊富な長崎の食の魅力を発信

PV / インフルエンサー / 紙媒体



▲長崎ぶりと長崎ブロッコリーの pasta

県産品プロモーション事業。食通としても知られる作家・柏井壽氏による佐世保～西海のグルメツアーを雑誌「Discover Japan」に掲載、取材の様様をPVにまとめた。更に「くらしのきほん」編集長でエッセイストの松浦弥太郎氏プロデュースの県産品(長崎牛・長崎いりこ・長崎みかん等)を使ったレシピ開発～レシピ動画を制作した。レシピ詳細は県HPからダウンロードできる。

CASE 21

2022年度 小澤酒造株式会社

## 小澤酒造ブランディング

東京で最も古い酒造メーカーのけ最高品質酒「澤乃井 生酛 純米吟醸 武陽」のパッケージデザインを企画制作

プロデュース / WEB媒体



▲パッケージデザイン「澤乃井 生酛純米吟醸 武陽」

元禄年間に創業した東京で最も古い酒造メーカー、小澤酒造株式会社。同社の最高級酒「澤乃井 生酛 純米吟醸 武陽(ぶよう)」のパッケージを企画制作。CDやDVDといったパッケージカバーデザイン制作のノウハウを活かし海外戦略を担う最高級品に質するデザインに仕上げた。

CASE 23

2021年度 埼玉県 (農林部生産振興課)

## 狭山茶需要創出促進事業実施業務

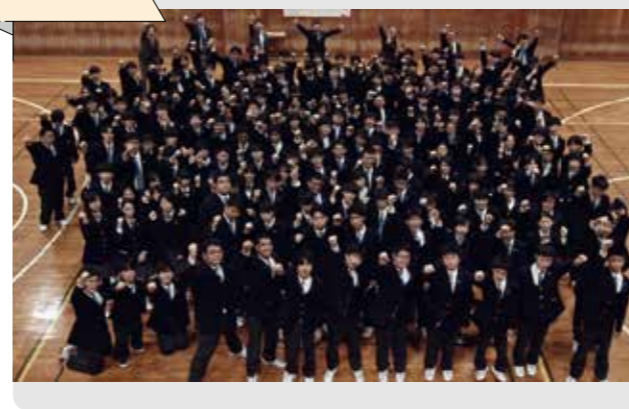
県の特産品である「狭山茶」の魅力を県内外へと積極的に情報発信

イベント / 配信 / プロデュース  
WEB媒体

▲オンライン狭山茶まつり

コロナ禍に対応した販売促進イベント「オンライン狭山茶まつり」の実施や、狭山茶を使用したレシピコンテストの開催。さらに飲食店等への商品開発支援の実施等、狭山茶の新たな需要の創出、SNSを活用したPR事業を展開した。タレント・山之内すず、ミュージシャン・小宮山雄飛、カフェプロデューサー・中島誠、飲料専門家・江沢貴弘が参画し情報発信を積極的に実施した。

プロデュース



▲集合写真(2021)

CASE 25

## 武相荘インバウンド向けイベント実施 (PR及び映像制作)

2023年度 観光庁・東京都町田市・(株)こうげい/旧白洲邸 武相荘

白洲次郎・正子の旧宅、旧白洲邸武相荘がフェス会場に

旧白洲邸 武相荘は昭和の実業家 白洲次郎・文筆家で妻の正子の旧宅にして町田市指定史跡。同所においてインバウンドをターゲットとしたライブを企画制作。またライブ制作のみならず映像コンテンツ制作もを行い、ターゲットをセグメントしたWEBプロモーションを実施した。



▲BUAISO LIVE



▲BUAISO LIVE

CASE 24

## 高校教育サポート事業

2020～2023年度 CLARK NEXT Akihabara (クラーク記念国際高等学校)

高校の学習プログラムをプロデュース

クラーク記念国際高等学校の秋葉原校にあたる「CLARK NEXT Akihabara」の、主にエンターテインメント系コース授業の学習カリキュラムや各種イベントのプロデュースなどを2020年度より行っている。2023年度からは探求学習の一環として、週毎に講師が変わる「100人の大人プロジェクト」を全面監修。エンターテインメント業界への就職を希望する生徒の進路サポートも行い、毎年有望な生徒を業界へ送り込んでいる。



▲卒業制作(2022)



▲芸術祭(2023)

PV / イベント / 配信 / プロデュース / WEB媒体



▲武相荘ミュージアム

CASE  
26

## アニメ「君は放課後インソムニア」コラボ事業

2022年～2023年度 七尾市 (交流推進課)

プロデュース/PV/イベント



▲七尾～穴水駅間を走行する、のと鉄道ラッピング列車



▲七尾港まつりの「君ソムブース」。コラボうちわを無料配布



▲市内循環ラッピングバスも

七尾市を舞台にした実写映画・アニメの公開に合わせ、各種コラボ事業を実施

2019年度から「ビッグコミックスピリッツ」(小学館)で連載された「君は放課後インソムニア」(オジロマコト氏作。以下、君ソム)。七尾市を中心に能登半島を舞台にインソムニア=不眠症に悩む高校生を描いた青春漫画。

2023年4月よりテレビアニメ、6月より実写映画が公開となり、アニメや映画とコラボした事業を2022年度より展開。初年度は作品を市内の方々に知っていただくために、市の一大夏イベントである「七尾港まつり」のコラボポスターを作成。漫画やアニメの複製原画展を複数個所で開催した。



▲七尾の夏祭り「七尾港まつり」とアニメとのコラボポスター

2023年4月からは、七尾市を走るとのと鉄道のラッピング列車の走行がスタート。七尾市長やアニメに出演した能登麻美子さんをゲストに迎え七尾駅で出発式も開催した。七尾港まつりでは、アニメのキャラクターの声を担当した声優陣によるトークイベントを行い、市内外から多くの方が足を運んだ。



▲七尾市の街を描いた観光パンフレットの表紙～裏表紙

CASE  
27

2023年度 有田町 (まちづくり課)

## PRショートアニメーション映像制作業務

有田町観光大使である鉄道むすめ 西浦ありさフル稼働による有田町プロモーションアニメ&amp;オリジナル楽曲

観光/アニメ/PV/配信  
プロデュース/WEB媒体

▲有田町観光PRアニメ「鉄道むすめ」

「鉄道むすめ」は全国各地の実在する鉄道事業者の制服を着たキャラクターコンテンツ。有田町初代観光大使を兼任する松浦鉄道の鉄道むすめ、西浦ありさが同町の観光スポットを紹介するアニメーションを制作。楽曲は西浦ありさのCVをつとめる声優・安齋由香里が歌唱したオリジナル! 西浦ありさは有田町をはじめ松浦鉄道沿線自治体である松浦市「松浦アジフライ大使」、佐々町「佐々町観光協会コーディネーター」も兼任し、彼女を基点とした地域の魅力発信を行っている。

CASE  
29

2022年度～継続中 千曲市 (総務部秘書広報課広報広聴係)

## 千曲市シティプロモーション事業業務

TVアニメ放送前から市内外へのPRを実施

アニメ/イベント/配信  
プロデュース/インフルエンサー

▲TVアニメ「Turkey!」メイヴィジュアル

千曲市を舞台に制作されるテレビアニメ「Turkey!」を活用し、ポスターやチラシ、グッズ等に活用可能な汎用性の高い千曲市オリジナルデザインを制作。併せて関連声優の稼働も行い、エンターテインメントならではの訴求力を活かし、千曲市の魅力を広く全国に発信することで認知度向上・観光誘客、地域振興の促進に貢献している。

CASE  
28

2023年度 浜松市 (観光・シティプロモーション課)

アニメ「夢見る男子は現実主義者」  
コラボ声優稼働イベント企画運営

TVアニメ放送後に声優・監督によるトークイベントを開催



▲静岡県外からも作品ファンが駆けつけ盛り上がったイベント会場

「浜越高校文化祭トークショー in 浜松」と題し、アニメのモデル地となった浜松市で声優の宮瀬尚也さん、涼本あきほさん、古賀一臣監督によるトークイベントを企画・開催。会場前にはキャラクターのパネルなどの展示、イベントに合わせて近隣でポップアップストアを開催、作中で登場したスポットにはフォトスポットを設置するなど、イベントを機に浜松市を訪れた人が周遊できる工夫を行った。

CASE  
30

2022年～2023年度 北九州市 (文化企画課・MICE推進課)

## アニメ「メカウデ」コラボ事業

サブカルの街・北九州市とのコラボ・プロモーション

イベント/紙媒体



▲北九州ポップカルチャーフェスティバルではコミック版の配布も

福岡発の新進気鋭スタジオ・TriFが手掛けるTVアニメ「メカウデ」。2024年10月の放送を前に、舞台のモデルとなった北九州市で毎年開催されている北九州ポップカルチャーフェスティバル(KPP)へ出展。KPPで配布したコミック版には同市の紹介を加えたり、市が発行する紙媒体へのキャラクターやロゴを掲載するなどコラボ・プロモーションを展開している。

PV



▲あばれる君を採用したPR展開

CASE  
31

## 福島県オリジナル防災VR映像制作業務

2023年度 福島県 (危機管理課)

## フルCG360度VRで災害対策動画を制作

東日本大震災や令和元年東日本台風で被害を受けた福島県民に対し、備えの重要性を体感してもらう360° VRコンテンツ「地震・津波編」「水害・土砂災害編」をフルCGで制作。タレントの「あばれる君」をアンバサダーに、福島県知事と完成発表会を開催し、福島県全テレビ局での報道されるなど、大きな話題を創出した。



▲防災VR「地震・津波編」

▲防災VR「水害・土砂災害編」

プロデュース/イベント/ PV / WEB媒体



▲本社イベントスペースで開催した事業説明会

CASE  
34

## 国際交流基金 日本語パートナーズ 派遣事業 募集広報業務

2021年~2023年度 独立行政法人国際交流基金

## 事業広報と各種イベントの企画運営を実施〜多文化共生社会人材〜

国際交流基金が実施する東南アジアにおける日本語教育を支援する日本語パートナーズの派遣事業の募集広報業務。日本語パートナーズは派遣先各地での日本語教育サポートを通して文化交流を行い、帰国後は多文化共生社会の担い手となることが期待されている。事業を紹介する映像制作のほか、オンライン配信で行う事業説明会はエンタメ要素を加えることで事後アンケートでは満足度は90%超と高い評価を得ている。



▲事業告知・応募促進用の広告バナー

CASE  
32

2022年度 岡山県立大学 地域連携・研究推進課 企画広報班

## 岡山県立大学PR動画制作業務

## 大学のPR映像に話題の歌手を起用してMV風に制作

PV / WEB媒体



▲学生全面協力のもと、エモーショナルなPVを制作

岡山県立大学が令和5年に開学30周年を迎えるにあたり、新たな動画コンテンツを制作するとともに、様々なメディアを効果的に活用してPRすることで、特に今までリーチできなかったエリアの高校生に対し、認知度や興味関心度の向上を図る事業。映像は県大生の全面協力のもとに学生生活の風景をエモーショナルに描き、話題のシンガー Sincereを起用したキャンパスソングを使用したミュージックビデオ風に制作。

CASE  
33

2022年度 株式会社三菱総合研究所 (環境省)

## 台風激甚化に関するパンフレットの作成、印刷・製本

## 「気候変動への対応策を考えるきっかけ」をデザイン

紙媒体



環境省「気候変動による災害激甚化に関する影響評価業務」(2020年~2022年度)の成果を冊子化。地球温暖化に伴う気象災害のリスクを訴求するため、デザイン面で冊子制作をサポート。

▲冊子「勢力を増す台風2023 ~我々ほどのようなリスクに直面しているのか~」

CASE  
35

2019年~2023年度 株式会社日本旅行

## 企業プロモーション映像制作

## 旅へ誘う企業PVのほか、事業紹介など多種多様な映像を制作

PV



▲株日本旅行 創業115周年記念企業PR映像(2019)

創業115年(2020年当時)を記念し、事業領域を広げる株日本旅行の新たなイメージを印象づける、爽やかなブランドムービーを制作。このほか、同社が進める宇宙・教育・SDGs関連の取り組みや、多角化が進む事業への理解受け入れる地域との関係を深める社内研修プログラムの模様などを映像化した。なお、同社とは2017年より地域共創分野において業務提携を結んでいる。

CASE  
36

2017年~ 東京都世田谷区、品川区、町田市、立教大学ほか

## 各種講演/セミナー登壇

## 時代性のある情報発信スキル向上や事例共有講演

実施カテゴリー



▲東京都町田市 情報発信セミナー(2024)

エンターテインメント見地による地域活性化事業をローンチしたファウンダー、村多正俊による講演、講義。府省庁、自治体、地域団体、大学等における実施事例は50を超え、受講者総計は10,000名以上。時代性のあるスキル向上取得や成功事例共有により知見を深め、持続可能な地域社会実現への一助を担う人材育成をサポートしている。



## 扶桑社 × ポニーキャニオン

### 佐賀県「SAGA BAR」を活用した 佐賀酒プロモーション業務

佐賀県産銘酒×産品を用いた創作料理 首都圏におけるPRイベントを実施

佐賀の自然の恵みからうまれた佐賀酒。  
都市圏での知名度向上に向けて  
個性あふれるイベントを東京で開催。

魅力を広く伝えるために、趣向を変え3回実施。第1回は人気料理家・ワタナベマキさん考案の、佐賀酒にあう佐賀産品を使用した創作料理を提供。第2回は料理系YouTuberだれウマさんとコラボし、佐賀をめぐる旅で出会った食材を使ったオリジナルスイーツ&低アルコールカクテルで新たな佐賀の味を提案した。第3回では唐津焼や有田焼等を愛した文筆家白洲正子の旧居、旧白洲邸武相荘にてレストランイベントを開催。佐賀産食材によるスペシャルな酒肴&酒器で贅沢に佐賀の日本酒を演出。それぞれのイベントで、佐賀の地酒の魅力が多角的に表現。インフルエンサー稼働のもと、メディアやSNSを駆使し、積極的に情報発信することにより、佐賀酒の認知度向上と販売促進に繋げ、都市圏における「酒どころ佐賀」のブランディングの一助を担った。



「SAGA BAR premium in 武相荘」の装飾



イベントで提供した佐賀の日本酒



「SAGA BAR premium in 武相荘」レストランイベントの様子

佐賀の酒蔵を訪れたワタナベマキさん

## ポニーキャニオン × 扶桑社 × BSフジ

### おうめをみつける・おもいだす戦略支援業務

情報発信インフラ構築とメディアタイアップで青梅市の魅力を広く発信

首都圏を中心に青梅市での暮らしや  
魅力を発信し、移住者増加・定住促進を  
促すための事業を展開。

首都圏を中心に青梅市での暮らしや魅力を発信し、移住者増加・定住促進を促すための事業として、初年度にポータルサイト、ガイドブックの制作、先輩移住者へのインタビューを交えたPR動画の制作、公式インスタグラムの運用、ハッシュタグキャンペーンを実施。2年目からは、構築したインフラの運用に加え、空き家・遊休地活用アイデアコンテスト「わがままライフコンテスト」を開催し、市内外から約100件の応募があった。また、市の魅力を知り、発信する取組として「おうめ写真さんぽ」を企画・運営。プロのフォトグラファーとともに写真を上手に撮るポイントを教えてもらいながら、街を歩き、撮影された写真、「さまざまな人が捉えた青梅市」として公式Instagramでも活用した。更に、より広く発信をするため扶桑社が運営する「素敵な暮らし」を発信する「ESSE online」「天然生活Web」「カラふる」にて、青梅市で古民家リノベをして暮らす方、理想の暮らしを実現された方へのインタビューを掲載、BSフジのドキュメンタリー番組「Trailblazers」(トレイルブレイザーズ)では、青梅でオーガニック野菜を生産するome farmを取材、「なぜ青梅を選んだのか」を切り口に、市の魅力を国外へもNHK国際放送を通しての発信を行った。



青梅市わがままライフコンテストの審査会



キービジュアルイラスト贈呈(左:大勢待青梅市長、右:坂内拓氏)



# 産経新聞 × BSフジ

## スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ

東日本大震災と原子力災害からの復興に取り組む福島を、スイーツの力で応援

東日本大震災と福島第1原子力発電所事故からの復興を、スイーツの力で応援することが目的。

「スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ」は東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所事故からの復興を、スイーツの力で応援することを目的に開催。大会では、全国の高校生を対象に、大熊町のキウイ、富岡町のパッションフルーツ、楡葉町のサツマイモ、富岡町のバナナの4部門ごとに、それぞれの特産品を使用したレシピを募集。計721組の応募があり、審査員を務める一流シェフらによる厳正な審査の結果、各部門3組ずつ、計12組が決勝大会へと進出した。決勝大会は福島の「Jヴィレッジ」で行われ、高校生らは考案したレシピにもとづいて実際にスイーツを調理。審査の結果、各部門の最優秀賞として大熊町賞、富岡町賞、楡葉町賞、広野町賞が決定。この決勝大会の様相をBSフジが取材し、9月29日午後5時から同局の特別番組として放送された。受賞者には、副賞として、審査員シェフと共に、各町の特産品を用いたコラボスイーツを開発する機会が与えられ、開発したスイーツは2025年2月に東京・代々木公園で開催する「ふくしまスイーツフェスティバル」で販売予定である。



決勝大会の様相を特別番組で放送



出版

扶桑社

扶桑社 地域創生事業部  
<https://colorfuru.jp/>



出版事業で磨いた企画・編集力で、地域の課題をユニークに解決!



【所在地】  
〒105-8070 東京都港区海岸1-2-20  
汐留ビルディング19階

【事業内容】  
週刊誌、月刊誌、季刊誌などの雑誌、ムック、書籍、コミック、デジタルコンテンツ等の企画制作・販売、各種Webメディア、オンラインショップの企画制作、運営イベントの企画制作、運営

新聞+デジタル事業

産経新聞社

産経新聞社  
メディアビジネス局  
<https://adv.sankei.com/>



老舗メディアの資産とオンラインコミュニティをかけあわせ、地方の課題解決に貢献!



【所在地】  
(東京本社)  
〒100-8077 東京都千代田区大手町1-7-2  
(大阪本社)  
〒556-8660 大阪市浪速区湊町2-1-57

【発行媒体】  
産経新聞、サンケイスポーツ、競馬エイト、週刊Gallop、雑誌「正論」、東京シーサイドストーリー、メトロポリターナ、TVnavi(テレビナビ)の発行

総合エンタメ

ポニーキャニオン

PONY CANYON  
エリアアライアンス部  
<https://local.ponycanyon.co.jp/>



エンタメ全般のあらゆるノウハウを生かして、人の力を結集!



【所在地】  
(本社) 〒106-8487 東京都港区六本木1-5-17

【事業内容】  
音楽、教養、文芸、スポーツ、映画、娯楽など各種パッケージソフト(CD、DVD等)、ゲームソフト、デジタルコンテンツ、書籍の企画、制作、販売、映画配給、コンサート・イベント企画制作、自治体協業

放送

BSフジ

BSフジ 事業メディア局  
コンシューマー事業部  
<https://www.bs-fuji.tv/index.html>



全国放送もできるコンテンツ力で、地域の魅力を発信!



【所在地】  
〒137-8088 東京都港区台場2-4-8  
フジテレビ本社ビル メディアタワー 22階

【事業内容】  
1. 放送法に基づく基幹放送事業  
2. 通信衛星、インターネット、光ファイバー、その他の技術的手段を使用する通信並びに配信事業

